

会 議 録

会議の名称		令和８年度第１回荃崎学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和８年(2026年)５月２７日（水）開会 13:30 閉会 15:30		
開催場所		つくば市立荃崎中学校 調理室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	近藤 宏子、倉本 茂樹、小島 弘子、齊藤 幸子、稲葉 好美 小川 真里奈、中根 良輔、小川 香、星 雄太、近藤 恵理 飯塚 康弘、横山 暢彦、金井 恵美、井澤 文子、中嶋 修、 岡野 稔 荃崎中学校：校長 高野 満美子、教頭 鈴木 英理 教務主任 佐野 賢一、副教務主任 中野 満 荃崎第二小学校：校長 宮田 路子、教頭 堤 誠吾 教務主任 中島 圭子 荃崎第三小学校：校長 木村 和江、教頭 三橋 伸孝 教務主任 大藺 節子		
	事務局	生涯学習推進課 参事：山口 健次 社会教育主事：柴崎 英二 地域連携教育指導員：酒井 和宏 社会教育指導員：岩村 一代		
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 自己紹介 3 説明・報告事項 ・令和８年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について ・令和７年度地域と学校の連携事業予算決算報告及び令和８年度地域と学校の連携事業予算計画について 4 会長・副会長の選出 5 協議 (1) 授業参観 (2) 学校運営の基本方針について (3) 熟議			

	「今年度の地域学校協働活動について～今年度の活動計画について～」 (4) その他 ・ 茎崎学園、高崎学園 家庭教育学級部会員指名 ・ コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について 6 閉会
--	--

<審議内容> 1 開会（茎崎中学校 教頭より） ・ 資料の確認 2 自己紹介 ・ 茎崎中学校⇒茎崎第三小学校⇒茎崎第二小学校 ・ 欠席者の確認（4名） 3 説明・報告事項（柴崎社会教育主事） <資料説明> ・ つくば市が目指すコミュニティ・スクール ・ つくば市が大切にしている3つのこと ①地域と学校で子供の学びと育ちを支える ②大人がつながる ③静かに、長く、温かく（炭火のように） ・ 最終ゴールは「人と人のつながり」を持たせること ・ つくば市コミュニティ・スクール評価ガイドラインの確認 例）子供と大人が共に学ぶ場になったか。 <口頭による説明> ・ 今年度から写真撮影可能⇒CS委員がSNSで発信⇒参加者や興味をもつ人が増えることを期待している。 ※現段階では周知が足りていない。 ※当然、情報モラルは忘れずに行う。 ※写真等に写りたくない方は事務局まで報告 ・ 予算について…各学校 37.5 万円が令達されている。学校裁量で支出することができる ・ CSコーディネーターの任命 ・ 決算報告（各学校 教頭より） 茎崎中学校⇒茎崎第二小学校⇒茎崎第三小学校 4 会長・副会長の選出 ・ 委員の互選による決定 → 立候補者なし 事務局推薦により中嶋修会長、岡野稔副会長を選出 5 協議 (1) 授業参観 ・ 茎崎中学校 8-1、8-2、9-1、9-2 の授業の様子を参観 (2) 学校運営の基本方針の説明 各校校長の説明の前に会長の挨拶を行う。 (中嶋会長)	
--	--

難しいことをやっているわけではないので基本は市からのガイドラインを参考にしてほしい。今年度で任期4年目になるので、少しずつ進化していきたい。子供たちのために何ができるかを考えていきたい。学校現場だけでは間に合わないので、以前は、PTA、親の力を借りていた。しかし、近年、それが難しい状況になっている。そこで、代わりとなるのが地域の力。それを担うのがCSや地域ボランティアである。それをどのように運営するかを考えるがこの場である。ここでは、「熟議」が目玉となっている。他市町村の事例なども取り入れていきたい。また、新しい委員の視点も必要と考える。できるだけいろいろな立場の方に委員になってもらいたい。校長の推薦が必要となっているが、地域からの選出も可能にしたほうがいいのではと考える。市の「地域と学校で子供を支える」ことに賛同である。いきなり大きなことをするのではなく、長く続けられる活動が必要。(先程の授業参観で扱っていた) 8年生の職場体験の支援などはまさに私たちができることではないのか。小学校の運動会等もCSが関わるべきではないのか。外の人間を学校にどんどん入れていくべきである。

学校運営の基本方針について(各学校長より)

【荃崎中学校】

- ・グランドデザインについて…令和7年度との変更点は赤字で表している。
- ・新たなステージへと進んでいきたい。
- ・20年後に生きてくる力を身につける。
- ・一斉授業からの脱却を目指す。
- ・「学び」を構造化する3つの柱
- ・豊かな人間性と社会性の育成
- ・未来を創る現場のジレンマ
- ・働き方改革＝「子供と向き合う時間」の創出
- ・荃崎の未来を地域と共に創っていきたい。

【荃崎第二小学校】

- ・基本理念は「一人ひとりを大切にする 笑顔あふれる学校づくり」
- ・「かしこく」確かな学力の育成…「授業が楽しい」と答える児童90%以上を目指す
- ・「なかよく」豊かな心の育成…「進んであいさつをする」児童90%以上を目指す
- ・「たくましく」健やかな体の育成
- ・「つながり」家庭・地域との連携

【荃崎第三小学校】

- ・安心から自信へ
- ・出発点は絶対的な「安心感」⇒「自信」へ
- ・働き方改革に関する具体的な施策
 - ①45分間の休憩時間の確保 ②19時最終退勤
- ・教職員の余裕を子供への承認のシャワーに変えられるようにする。
- ・授業の在り方の変化…「問い」から始まる学習の推進
- ・自ら学ぶ意欲の向上
- ・小さな成功体験の積み重ねが「自信」へとつながる。

※質問等は特になし

⇒承認 3名の校長先生の方針に沿って活動を進めていくことを確認

(3) 熟議

「今年度の地域学校協働活動について～今年度の活動計画について～」
学校ごとに約40分間の熟議を実施

【荃崎中学校】

- ・6月25日コキア植えを予定
- ・ボランティア募集のチラシを作成⇒回覧板で地域に配布、広く周知
- ・日常的に校庭見回りや登下校指導をお願いしたい。
- ・体育祭にCSが参加できる競技を設けること検討。
- ・80周年記念の文化祭で地域の方を招待⇒校歌を皆で歌うことを検討。

【荃崎第三小学校】

- ・防災訓練の実施
- ・昔遊び体験を休み時間等を活用して継続的にお願いしたい。
- ・三小祭で地域コーナーの復活
- ・授業の支援・補助をお願いしたい。

【荃崎第二小学校】

- ・防災教育の支援
- ・地域のごみ拾いを計画
- ・つくばスタイル科で地域との連携（各学年）
- ・児童からの意見も取り上げていきたい。
- ・CS主体で進めていきたい。

(4) その他

- ・荃崎学園・高崎学園 家庭教育学級部会員指名（会長より）
5名（金井委員、伊沢委員、飯塚委員、横山委員、小澤委員）を指名
荃崎・高崎学園で家庭教育学級 ⇒12月5日に決定
PTAや教職員にも広く参加していただきたい。昨年に続き、「オシエルズ」の講演を予定（金井・岩村）
- ・今後の予定について（荃崎中 教頭より）
第2回11月11日（水） 荃崎第二小学校
第3回2月10日（水） 荃崎第三小学校
※時間未定
市のHPに写真等を掲載する予定である。問題がある場合は申告してほしい。
- ・事務局から（柴崎社会教育主事）
 - ① R7のCSアンケートを参考にして今年度の活動を進めていただければと思います。
 - ②新任CS委員向け方針説明動画を作成中
 - ③連絡手段としてTeamsの活用を検討中
 - ④本日の欠席者には各学校で資料を配付願いたい。

6 閉会

令和 8 年度第 1 回荃崎学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和 8 年 5 月 27 日（水）

13:30～15:30

場所：荃崎中学校 調理室

次 第

1 開 会

2 自己紹介

3 説明・報告事項

- ・令和 8 年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について
- ・令和 7 年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和 8 年度地域と学校の連携事業予算計画について

4 会長・副会長の選出

5 協 議

(1) 授業参観

(2) 学校運営の基本方針について

(3) 熟議

テーマ「今年度の地域学校協働活動について」

～今年度の活動計画について～ （各校ごと）

(4) その他

- ・荃崎学園、高崎学園 家庭教育学級委員任命
- ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

6 閉 会

令和8年度

荻崎学園グランドデザイン



つくばの学び

みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園

～自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きした学校～

学園目標 自ら学び 豊かな人間性とたくましさを備え 未来を拓く児童・生徒の育成

学園組織目標

- ✧個別最適な学びと協働的な学びをマネジメントし、学力向上を図る。
- ✧互いを認め合い、自己肯定感を高める教育を推進する。
- ✧保護者・地域と連携・協働し、「地域とともにある学園づくり」を推進する。

< 学び続ける力 >

* 個別最適で協働的な学び

- ・問いから始める学びの推進
- ・思考力、表現力を高める指導の工夫
- ・多様な学びの場の推進
- ・学力向上プランを基にした取組
- ・1人1台端末の効果的活用
- ・家庭学習の手引きの活用
- ・読書活動の推進

< 豊かな人間性 >

* 自己肯定感の向上

- ・地域を愛する心の育成
- ・あいさつ、黙働清掃の推進
- ・ルールメイキングの推進
- ・キャリア教育の推進
- ・考え議論する道徳の推進
- ・保幼小中連携の充実

< 健康・安全・体力 >

* 自己管理能力の育成

- ・歯の健康促進
- ・食育の推進
- ・多様性の理解促進
- ・児童生徒、学校の防災力の向上
- ・合同避難訓練、地域防災会議の充実
- ・救命教育の推進
- ・体育的交流活動の推進

学園組織

学園運営協議会の設置

- 【コミュニティ・スクールの運営】
- 【家庭教育学級】
- 【学校防災連絡会議】

教頭会

教務主任会

学び続ける力部会

豊かな人間性部会

健康・安全・体力部会

児童・生徒の
学びの姿

【教職員の資質向上】マネジメント力（授業・学級経営・学校運営）の向上、働き方改革・部活動地域展開の推進、研修の充実、コンプライアンスの徹底

第1学年～第4学年 （基礎・基本習得期）

- ・学びの基本を身に付ける
- ・相手の気持ちを考えて行動する
- ・楽しく運動し、健やかな身体をつくる

第5学年～第7学年 （基礎活用・応用期）

- ・探究的な学びを充実させる
- ・他を認め、自分のよさを生かして行動する
- ・たくましい心身をつくる

第8学年～第9学年 （進歩・発展期）

- ・未来を拓く学びを自覚する
- ・地域社会に貢献する
- ・自己管理能力を高める

学び続ける力の育成

- ◎探究的な学びを推進する授業の実践
- 個に応じた指導の充実
- 効果的な場面でのAIアプリやICTを活用した授業展開

豊かな人間性の育成

- ◎ルールメイキングのプロセスを重視した、9年間を意識した規範意識の醸成
- 「考え、議論する」道徳授業の充実と基本的人権の尊重
- 私たちのまち「荊崎」を愛する心の育成

健康・安全・体力の育成

- ◎自己管理能力を高めるための日々の啓発と特別授業の実施
- 系統性を重視した食育指導と体力向上の取組
- 防災力の向上をめざした地域との連携

自主・責任・友愛

教育目標 -SCHOOL MOTTO-

主体的に学び 人とのかかわりを大切にする
心身ともにたくましい 生徒の育成

こんな学校に



- 感動にあふれ、楽しい
- 安心、安全
- 保護者、地域住民から信頼される
- 先生方も働きやすい

こんな生徒に



- 自ら考え、高め合う
- 責任をもって行動できる
- 優しさや思いやりにあふれる

こんな先生に



- 生徒と共に学び続ける
- 効果的な学びをデザインできる
- 子どもに寄り添い、人間味溢れる
- ワークライフバランスがとれる

20年後に生きる
教育トレンドを実践します！



荊崎学園

SCHOOL
GRAND DESIGN



つくば市立荊崎中学校

<https://www.tsukuba-school.jp/kuj/>

つくば市の教育大綱

- 「教え」から『学び』へ
- 「管理」から『自己決定』へ
- 「認知能力偏重」から『非認知能力の再認識』へ

令和8年度 荃崎学園つくば市立荃崎第二小学校の教育

県の教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し協力しあう心を育てる

学校の教育目標

夢と希望の実現に向けて、心豊かにたくましく生きる児童の育成

校 訓

かしこく なかよく たくましく

つくば市の教育目標

みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園
～自己実現できる学校・みんなで支え合い・みんなが生き生きとした学校～

荃崎学園の教育目標

- ・自ら学び 豊かな人間性とたくましさ
を備え 未来を拓く児童・生徒の育成

目 指 す 学 校 像

- 学びとふれあいのある楽しい学校
- 児童の可能性を伸ばせる学校
- 安全・安心で地域に根ざした学校

目 指 す 児 童 像

- ㊦ よく考え、進んで学ぶ児童
- ㊦ 思いやりをもち、協力できる児童
- ㊦ 安全に心がけ、体をきたえる児童

目 指 す 教 師 像

- 人間性豊かで、信頼される教師
- 明るく児童への愛情のある教師
- 指導力があり積極性のある教師

学校経営の理念 『 一人一人を大切にする 笑顔あふれる学校づくり 』

組織目標

学ぶ楽しさを味わわせる授業づくりを通して、自ら学ぶ子を育てる。
よさを認め合う集団づくりを通して、自他を大切にする子を育てる。

《確かな学力の育成》

- 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり
 - ・学習課題の精選と多様な学びの場の推進
 - ・協働的な学びによる学習内容の定着
 - ・学習端末の効果的な活用
- ☆授業が楽しいと答える児童 90%
- 自主的な家庭学習の習慣化
 - ・「家庭学習の手引き」の効果的な活用
 - ・学習端末を活用した家庭学習の推進
- ☆学習端末を活用した家庭学習ができる児童 85%
- ☆年間 50 冊以上読書した児童 100%
- 特別支援教育の充実
 - ・ユニバーサルデザインの授業実践
 - ・個別のニーズに応じた指導・支援
- ☆学校の授業は分かりやすいと答える児童 95%

《豊かな心の育成》

- よさを認め合える、よさを発揮できる人間関係づくり
 - ・学級経営の充実
 - ・児童会活動の活性化
- ☆自分にはよいところがあると言える児童 85% (R7 学校評価 78%)
- ☆みんなの役に立っていると言える児童 75% (R7 学校評価 70%)
- ☆夢や希望をもっている児童 85%
- 基本的生活習慣・規範意識の定着
 - ・あいさつの奨励、黙読清掃の推進
 - ・ルールメイキングの推進
- ☆進んであいさつをしている児童 90% (R7 学校評価 85%)
- 道徳教育の充実と人権教育の推進
 - ・「考え議論する道徳」の推進
 - ・自分も他人も大切にする児童の育成
- ☆思いやりをもって生活している児童 95%

《健やかな体の育成》

- 命の大切さを基盤とした健康な心と体づくり
 - ・体育的行事への積極的参加
 - ・健康的な体づくりの習慣の確立
 - ・養護教諭による保健指導
- ☆体育的行事にめあてをもって取り組んでいる児童 85%
- ☆早寝・早起き・朝ご飯を守って生活している児童 85% (R7 学校評価 75%)
- 児童の危機回避能力を高める保健安全指導の充実
 - ・学校生活における保健安全指導
 - ・登下校の交通指導
 - ・交通安全教室
 - ・避難訓練
- ☆安全に気を付けて生活している児童 95%

《家庭・地域との連携》

- 安全・安心、地域とともにある学校づくり
 - ・荃崎学園CS協議会
 - ・地域連携防災会議
 - ・学校ボランティアの有効活用
 - ・教育活動の情報発信（便り・HP）
 - ・緊急メール情報配信
- ☆地域を大切にしている児童 75%
- ☆学校HP更新：週3回以上
- 保幼小中の連携・交流
 - ・相互授業参観
 - ・中学校生活体験学習
 - ・保幼小交流活動
- ☆保幼小中交流活動 年5回以上

研究主題 主体的・対話的で深い学びを生み出す教科指導の在り方
～個別最適な学びと協働的な学びの往還を図る教科指導を通して～

教職員の資質・能力の向上
・若手教員育成 ・コンプライアンス意識の醸成 ・働き方改革の推進

荊崎第三小学校 グランドデザイン:「安心」から「自信」へ、共に伸びる成長のロードマップ

成長を支える学校経営の基盤

ステップ1: 心の安定 (安心感)

45分休憩の確保や19時退勤を徹底し、教員の「心の余力」児童への承認に変えます。



児童の成長を導く「3ステップ」

ステップ2: 学習規律 (構え)

「聞く・話す・書く」の徹底と時間の遵守により、学びの基盤を整えます。



ステップ3: 小さな成功体験 (自信)

ICT活用や「わかった!」の積み重ねを、自ら学ぶ意欲(学力)へと繋げます。



承認のシャワー: 本物の承認→自己肯定感最大化



「問い」から始まる45分授業

児童の「知りたい」を起点に、教員は学習を支援する「伴走者」へと役割を更新します。



家庭・地域との「共育」パートナーシップ

児童のプラスの行動を積極的に共有し、ワークショップ型参観などで信頼を深めます。

施策: 休憩/退勤厳守→教員: 認知負荷軽減/学習デザイナー化→児童: 安定した接点/個別最適授業